

和歌山ろうさい病院広報誌

わろうて

わかやまろうさい病院からのおてがみ

和歌山ろうさい病院
副院長 桑田 俊和

今年も暑かった夏が終わり秋も深まって参りましたが、皆様方におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

今年に入ってからのコロナ騒ぎで我々の生活はすっかり変わってしまいましたが、そんな中8月に安倍晋三首相が突然に辞意を表明されました。7年8ヶ月にわたる長期政権ということで、世間では「アベ ロス」という言葉ができたり、内閣支持率が急上昇するといった、考えられないことがおきました。

安倍内閣の功績としては、国民投票法の制定や、教育基本法の改正などに加え、アベノミクスと呼ばれる経済政策を進めたことがあげられますが、外交・安全保障面において国際社会における日本の存在感を高めたことについてはたいへん大きな功績であったと思われます。新型コロナウイルス感染症対策については色々批判もありましたが、世界的にみて日本は感染者数、死亡者数が少なく、第二波と思われる流行も収まりつつあるようです。なぜ日本に感染が少ないのかは世界的にもミステリーとされていますが、清潔さを重んじる日本人の民度が関係しているのではないかと思います。

当院では新型コロナウイルス感染症の発生当初から南條病院長のリーダーシップのもと、病院全体として様々な感染対策を行なってきました。現在のところ病院職員からは一人の感染者も出ることもなく、病院内でのクラスターの発生も見られておりません。5月からPCR検査機器を導入し、早期診療に活かしてきましたが、8月からは和歌山市から受託しました和歌山市PCR検査センターの運用を開始しました。和歌山市PCR検査センターでは、かかりつけ医からご紹介いただいた、新型コロナウイルス感染症が疑われる方に対して、週3回PCR検査を行なっています。また無症状であってもPCR検査を受けたい方は、自費診療になりますが、検査を受けることができます。職場内や学校内での集団感染予防のため、PCR検査のご希望が多く寄せられております。企業・団体の皆様には団体割引を、学生さんについては学生割引を行なっておりますので、ご希望される方は当院健診センター受付にお電話にてお申し込みください。

これから寒くなるにつれて、インフルエンザの流行や新型コロナウイルス感染症の第三波の到来も心配されますが、病院全体で厳重な対策を行い感染症に立ち向かっていきたいと思っております。皆様方にはどうかご自愛くださって、お健やかに過ごしてください。

日本医療機能評価機構認定病院
地域医療支援病院

独立行政法人労働者健康安全機構

和歌山ろうさい病院

〒640-8505 和歌山県和歌山市木ノ本93番1

TEL.073-451-3181 (代) FAX.073-452-7171 (代)・073-451-3788 (地域連携室専用FAX)

E-mail.soumu@wakayamah.johas.go.jp URL.https://www.wakayamah.johas.go.jp

和歌山ろうさい病院理念

地域の人々と勤労者に、地域医療機関と密接に連携しつつ、安全に十分配慮した最適な医療を提供する。

救急科のご紹介

救急科部長 岩崎 安博

和歌山ろうさい病院の救急科は、救急外来での初期診療、集中治療室(ICU: Intensive Care Unit)での集中治療(人工呼吸管理、ショックの治療等)を行っています。平成31年(令和元年)の当院の救急外来における救急車受け入れ件数は、3,679件でした。主に和歌山市北部と阪南・岬地域の救急患者さんを受け入れています。和歌山市消防の救急搬送において、当院は2番目に多く受け入れており、これは救急部だけでなく病院全体で救急医療に取り組んでいる結果です。しかし今年度は救急患者さんの数は大きく減少しています。その理由は新型コロナウイルス感染症です。多くの患者さんが、コロナ感染のリスクを危惧し、不要不急の受診を控えたこと、家庭や職場でも手洗いやマスク着用が一般化し、感染症にかかりにくい社会環境が形成されたことがあると思います。その結果、当院だけではなく多くの医療機関で受診数が減少しています。

また救急車の出動件数も減少していますが、この現象は必ずしも悪い事ではなく、医療資源の適正な利用という側面もあるように感じます。4月～6月における当院の救急車受け入れ件数は昨年度873件、今年度716件と著明に減少していました。しかし中等症以上で入院となった患者さんの頻度は、昨年度40%(352名)でしたが、今年度は43%(310名)でした。入院患者数自体は減っていますが、救急搬送における入院の頻度は増加し、救急車利用の適正化につながっているのかもしれませんが。また多くの方は普段から衛生環境に気をくばり、体調管理を行うようになり体調を崩すことが少なくなっているのかもしれません。

その一方で当院では重症な患者さんへの対応を手厚く行えるようになってきました。昨年集中治療室を6床に増床し、今年度には救急専門の医師を3名に増員しました。集中治療室管理を行った患者数は、昨年の4～6月で258名のところ、今年度は423名と著明に増加しています。以前は重症でも、ICUが満床であるため止むを得ず一般病棟で治療を行っていた患者さんを、現在は余裕を持ってICUへ収容できるようになり、当院では、より多くの重症患者さんに安全で高度な医療を提供できるようになったといえます。

また当院は今回の新型コロナ対応においても、和歌山県庁、和歌山市と密接に連携してきました。市の要請に応じて帰国者・接触者外来を2月4日から行い、さらに救急外来では呼吸器症状がある発熱患者(擬似症)さんには、医師が適応ありと判断すれば積極的にPCR検査を行ってきました。その結果6月10日時点で、和歌山市の擬似症患者さんに対するPCR検査の20%を当院で行っています。当院のみでなく、和歌山市内の多くの医療機関も積極的に検体採取を行い、6月初頭での人口10万人あたりのPCR実施数は、和歌山県は全国3位となりました。その結果、和歌山県では人工呼吸を要する重症患者は大量発生せず、第一波を早期に収束することができたのではないかと考えています。このような対応ができたのは、当院全科の医師・看護師に加え、検査部門、事務部門全ての職員の活動があったからです。今後も病院全体で“コロナに負けない救急医療”を目指して、病院職員一丸となって対応していきたいと思えます。



中央検査部と新型コロナウイルスについて

中央検査部長 谷川 直人



2020年4月7日に新型コロナウイルスに対する緊急事態宣言が東京、大阪を含む7都府県に発令され、4月16日よりは全都道府県に拡大される事となりました。和歌山県においても有田でクラスターが発生して当時は県内もパニック状態にあったように思います。

そんな中で当院では南條院長の強力なリーダーシップのもと県内で初のリアルタイムPCR検査を導入することが決定しました。急遽、検査部内にPCRチームを結成して対応に当たることになり、手探りながらメーカー担当者等と協力して5月18日より院内PCR検査を開始しました。

その後は私たちが導入で経験したノウハウを見学に来られた近隣の病院にもお伝えして、病院同士の横の繋がりも深まりました。

導入以来、今日に至るまでに2,000件以上の件数を検査してきました。その間に8月からは和歌山市から委託された和歌山市PCR検査センターを病院内に設置することや海外渡航者のために実施した自費PCR検査の英語版検査結果書等の業務に携わってきました。また秋からは「GO TO修学旅行」の補助として各学校への出張PCR検査も予定しています。

これから訪れるインフルエンザの季節に予想されるコロナウイルス第3波にも対処できるように10月からはPCR検査の院内24時間体制を開始しました。

振り返ってみるとこの半年は新型コロナウイルスに振り回された半年でした。

PCR検査を導入した当時はいろいろと不安に感じて部署内でクラスターを出さないようにPCRチームと他の技師の接触を制限したり、感染防御のために重装備で検査を行ったりと不安が一杯でありました。しかし、現在は「油断してはいけないが必要以上に恐れることは無い」とwithコロナの精神で日々の業務に当たっています。収束はまだ見えませんが、中央検査部が一丸となり今後とも地域医療に貢献できるように努めたいと思います。



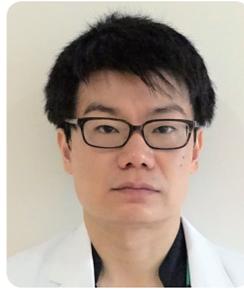
令和2年9～11月 新任医師紹介



おおもり しょうへい
大森 翔平 先生

循環器内科医師

9月から勤務致します大森翔平です。これまでは、腎臓内科・救急を中心に研修してきました。どうぞよろしくお願い致します。



つだ いくひさ
津田 郁久 先生

消化器内科医師

地域の皆様のお役に立てるよう、がんばっていきたいと思います。消化器症状が気になる方、大腸がん検診陽性の方はお気軽にご相談ください。



むらかみ けいしゅう
村上 圭秀 先生

脳神経内科医師

よろしくお願いします。



いなか しょうご
井中 将吾 先生

小児科医師

この度新しく配属されました小児科の井中 将吾と申します。より良い医療が提供できるよう頑張ります。



よこやま えいいちろう
横山 英一郎 先生

消化器内科医師

10月より労災病院へ勤務することになりました消化器内科の横山と申します。頑張りますのでどうぞ宜しくお願いします。



あなみ ゆき
阿南 有紀 先生

産婦人科医師

11月より産婦人科でお世話になります。少しでも貢献できるように努力いたしますので、よろしくお願い致します。

和歌山市 PCR 検査センター調印式

和歌山市よりPCR検査センター業務を受託し、令和2年8月12日から運用を開始いたしました。業務受託に伴い、令和2年8月7日に和歌山市役所にてPCR検査センター調印式が行われました。調印式では、尾花和歌山市長と南條病院長が契約書を取り交わしました。



「かかりつけ医」のご紹介

和歌山ろうさい病院との「病診連携システム」に参加されている「かかりつけ医」の先生方をシリーズでご紹介しています。

医療法人 青松会 河西田村病院

診療科目 内科、神経内科、循環器内科、消化器内科、小児科、神経小児科、泌尿器科、皮膚科、外科、リハビリテーション科、放射線科、人工透析、人間ドック

住 所 〒640-8413 和歌山県和歌山市島橋東ノ丁1-11

電 話 073-455-1015



院長 ^{もり} 森 ^{よしお} 義雄 先生



河西田村病院は1950年に和歌山市島橋北ノ丁に田村医院として開院され、1973年に現住所に新築移転、1981年に河西田村病院に改称されました。70周年を迎えた2020年、新本館を竣工し診療を行っております。

他病院で急性期治療を終えられ、以前の日常生活を送れる事を目指す多くの患者様が、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が多数在籍している河西田村病院を紹介され、リハビリに励まれています。

また、訪問看護・老人保健施設・在宅看護支援センターを運営し高齢社会に適応した診療を行われています。併せて透析治療にも力を入れており治療を希望する患者様も診察されています。

地域医療に貢献し患者様に寄り添う事をモットーにしています。田村松三初代理事長の御令孫・田村涉医師も加わった事で、若い世代と共に地域医療により一層貢献する事を目指しています。

和歌山ろうさい病院が今後も地域医療を提供し続ける上で、欠かすことのできない重要な連携協力医療機関(パートナー)です。

河西田村 病院 診療時間	月	火	水	木	金	土	日
	午前 (9時~12時)	○	○	○	○	○	○
午後 (16時~18時30分)	○	○	○	○	○	休	休

休診日:土曜午後・日曜・祝日・年末年始(12月30日~1月3日)

和歌山ろうさい病院 (外来診療科担当医一覧表) 令和2年11月1日現在

診療科	ブロック	診察室	月	火	水	木	金	手術日
内科	A	①番	中 啓吾	若崎 久生	中 啓吾	若崎 久生	中 啓吾	-
		②番	三長 敬昌	中尾 隆太郎	松本 怜佳	三長 敬昌	山本 昇平	
		⑦番	大伴 裕美子(午前) (腎臓内科)	南條 輝志男 【第2週休診】	-	-	-	
脳神経内科	A	⑪番	梶本 賢義	(午前)村上 圭秀	休診	梶本 賢義	梶本 賢義	-
		⑫番	-	(午後)神崎 和紀	-	村上 圭秀	-	-
血液内科	A	⑩番	阪口 臨	休診	阪口 臨	(午前)弘井 孝幸 (午後)-	休診	-
呼吸器内科	A	⑤番	前部屋 賢	細 隆信	当番医	細 隆信	庄野 剛史	-
		⑥番	辰田 仁美	庄野 剛史	前部屋 賢	辰田 仁美	当番医	
消化器内科	B	⑪番	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	-
		⑫番	与田 武徳	横山 英一郎	岩橋 優美	垣本 哲宏	内視鏡センター診 深津 和弘	
		⑬番	玉井 秀幸 (肝臓内科)	岡村 順平 (肝臓内科)	玉井 秀幸 (肝臓内科)	玉井 秀幸 (肝臓内科)	玉井 秀幸 (肝臓内科)	
循環器内科	A	⑧番	樽谷 玲	九鬼 新太郎 【新患診】	林 泰	林 泰 【新患診】	山本 康徳	火・木
		⑨番	当番医	-	当番医	九鬼 新太郎	当番医	
小児科	C	⑨番	上田 美奈	上田 美奈	長谷 朋香	小森 有紀	上田 美奈	-
		⑩番	井中 将吾	小森 有紀	井中 将吾	長谷 朋香	小森 有紀	
		特診⑨	小森 有紀	-	長谷 朋香	上田 美奈	【第1週目】 津田 祐子【再診】 【第2週目以降】 宮代 英吉【再診】	
		特診⑩	井中 将吾	上田【予防接種】 乳幼児健診(1500~) 【第1・3・5週】井中 【第2・4週】長谷	【第1・3・5週目】 小森 有紀 【第2・4週目】 上田 美奈	小森 有紀	長谷 朋香	
		心工 コー	-	-	-	1・3週 心工コー 根来 博之	-	
外科	B	⑦番	山本 基	坂口 聡	岩橋 誠	岩橋 誠	山本 基	月・火・水・木・金
		⑧番	当番医	清水 敦史	坂口 聡	福田 直城	清水 敦史	
		⑨番	-	-	-	緩和ケア・NST外来 坂口 聡	-	
		⑩番	-	-	-	ストーマ外来(予約制)	-	
整形外科	B	③番	中谷 如希	脊椎センター診 麻殖生 和博	手外科診 峠 康	中谷 如希	岩田 勝栄	月・火・水・木・金
		④番	峠 康	岩田 勝栄	籠谷 良平	スポーツ整形診 麻殖生 和博	中村 憲太	
		⑤番	当番医【紹介新患診】	籠谷 良平	山東 茂樹	野田 雄祐	山東 茂樹	
		⑥番	当番医【紹介新患診】	当番医【紹介新患診】	当番医【紹介新患診】	当番医【紹介新患診】	当番医【紹介新患診】	
		⑨番	中村 憲太	-	リウマチ・膠原病内科診 【第1・3・5週】 減本 伸生 【第2・4週】 田中 克典	-	-	
脳神経外科	A	⑫番	【第1週目】 寺田 友昭 【第2週目以降】 桑田 俊和	林 宣秀	桑田 俊和	当番医	岡田 秀雄	火・木
		⑬番	岡田 秀雄	-	辻 栄作	-	林 宣秀	
		⑭番	小山 佳輝	-	小山 佳輝	-	辻 栄作	
		救急特種	当番医	当番医	当番医	当番医		
呼吸器・乳腺外科	A	③番	休診	当番医 (呼吸器・乳腺外科)	玉置 剛司(午前) (乳腺外来)	玉置 剛司 (乳腺外来)	休診	月・水
皮膚科	D	①番	下松 達哉	休診	下松 達哉	当番医	当番医	火
		②番	稻田 有亮	休診	稻田 有亮	稻田 有亮	下松 達哉	
泌尿器科	C	①番	鈴木 淳史	若宮 崇人	休診	鈴木 淳史	休診	水・金
		②番	塔筋 央鷹	塔筋 央鷹	休診	若宮 崇人	休診	
産婦人科	D	⑩番	竹中 由夏	当番医	(午前)重根 光 (午後)久米川 綾 阿南 有紀	当番医	重根 光	火・木
		⑫番	矢本 希夫	助産外来(予約制)	矢本 希夫	助産外来(予約制)	当番医	
		⑬番	谷本 敏	当番医15診	竹中 由夏	谷本 敏	久米川 綾/阿南 有紀	
眼科	D	⑤番	(午前)坂東 肇 (午後)芦田 淳	芦田 淳	芦田 淳	芦田 淳 (予約制)	(午前)芦田 淳 第1週のみ (午後)三村 治	月・木
		⑥番	-	二出川 弘樹	二出川 弘樹	二出川 弘樹 (予約制)	(午後)二出川 弘樹	
		午後予約	-	検査(予約制)	検査(予約制)	-	第3週・コンタクト(予約)	
耳鼻いんこう科	C	⑤番	小上 真史	休診	森山 智美	森山 智美	小上 真史	火・水・金
		⑥番	横山 道明	休診	福田 祐也	横山 道明	福田 祐也	
		⑦番	-	休診	-	-	-	
		午後 予約	嚙下外来 小上 真史	嚙下外来 小上 / 担当医	嚙下外来 小上 / 担当医	第2・4週 補聴器外来・当番医	嚙下外来 小上 真史	
リハビリテーション科	D	1診	松本 朋子	松本 朋子	松本 朋子	松本 朋子	-	
放射線科	D	2診	当番医	峠 康	-	-	-	-
		1診	三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 康幸	
		2診	塩谷 健	塩谷 健	塩谷 健	塩谷 健	塩谷 健	
女性専用外来 【完全予約制】	A・D	午後 (予約制) A⑦番 D⑫番	-	第4週 婦人科外来 笠野 有里	第1・2・3・4週 総合(漢方)外来 辰田 仁美	第1週 乳腺・肛門外来 浦 希未子	第2・4週 漢方外来 神人 美穂子	-
専門外来	健診センター【予約制】	禁煙外来(1400~1430) 庄野 剛史	-	-	-	禁煙外来(1400~1430) 庄野 剛史	肥満外来(1500~1600) 中 啓吾	-

(注1)

- 1.小児科の午後は、予約者を対象に専門外来を行っています。
- 2.呼吸器・乳腺外科の月曜日、耳鼻いんこう科の火曜日、泌尿器科の水曜日・金曜日、眼科の木曜日は手術のため休診です。
- 3.母親教室は、毎週木曜日 14時~16時です。(予約制)
- 4.助産外来は、毎週火曜・木曜日 9時~15時です。(予約制)
- 5.耳鼻いんこう科の木曜日の午後の診察時間は、13時~15時となっております。
- 6.糖尿病教室は、平日月曜日~金曜日に開催しております。詳細については内科外来にお問合せください。
- 7.女性外来・専門外来は、完全予約制となっております。
- お申込みは、勤労者医療総合センター直通番号(451-3303)までお申込みください。
- 8.各診療科の専門外来については、病院代表番号(451-3181)を通じて各専門外来までお問合せください。
- 9.整形外科・当番医での予約は受け付けておりません。
- 10.前月から変更がある部分については網掛けで標示します。

(注2)

セカンドオピニオン外来の詳細については、患者サポートセンター
医療連携室(451-3181内線3128)までお問合せください。
※他院からの紹介状をお持ちの際は、必ず診療予約をして
頂きますようお願いいたします。
《診療予約をせずに来院されますと、担当医師が対応でき
ない場合があります。また対応可能な場合でも、待ち時間が
かなり発生いたしますので、前もっての診療予約をお願い
いたします》
【予約専用電話】 073-451-3186